



スケジュール/プログラム

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
【1日目】 8月28日(月)						集合・移動 福島駅→国立花山青少年自然の家 ※途中休憩あり	チェックイン	昼食・休憩	オリエンテーション	砥沢川シャワー クワイミング (沢①～⑥)	休憩	アウトドアクッキング			焚き火ナイト・ シャワータイム・ 自由時間・就寝	
【2日目】 8月29日(火)		起床・身支度	朝食・休憩	活動準備						砥沢川シャワークワイミング(沢⑦～⑯)	休憩	アウトドアクッキング			焚き火ナイト・ シャワータイム・ 自由時間・就寝	
【3日目】 8月30日(水)		起床・身支度	朝食・休憩	荷物整理 清掃・点検	チェックアウト	花山湖見学 →あ・さ・伊達街道の取見学 ※昼食休憩あり		出発・移動 あ・さ・伊達街道の駅 →福島駅 ※途中休憩あり	終了・解散							



栗駒山麓エコツアー

豊かな森林と川、自然の循環と相互作用を学ぶ

桜の聖母短期大学 BACK TO THE NATUREプロジェクト

プロジェクトの背景

東日本大震災からの復興・再生を目指す福島県では持続可能な社会の再生を目指しています。そこで、自分たちが暮らす地域の環境を守るために、豊かな森林と川がどのように関係し、互いに影響を与えるかを学び、自然の循環と相互作用について学ぶこととしました。そして、これらの体験からの学びを発信することで、福島県の森林の循環の重要性の理解促進、SDGsの達成にも貢献することができると考えました。



目的

豊かな森林と川がどのように関係し、互いに影響を与えるかを学び、自然の循環と相互作用について理解を深め、その重要性を発信することを目的としました。



活動計画・情報発信

- 6月～7月 エコツアーの参加者募集
- 7月 自然体験プログラム参加にあたっての事前学習
- 8月 栗駒山麓エコツアーへの参加
- 9月～12月 桜の聖母短期大学公式HP、SNS等にて活動内容を発信
- 12月～3月 成果報告会の準備、総括

参加者募集

桜の聖母短期大学内にてエコツアーへの参加希望者を募ったところ、参加者は11名になりました。
[学生] 9名
[教員(顧問)] 2名

What's Eco-tour? 2023.8.28-8.30

2023年8月28日(月)～30日(水)【2泊3日】

会場 国立花山青少年自然の家キャンプ場(宮城県栗原市)
対象 桜の聖母短期大学の学生 14名(先着順)
参加費 7,000円(3日間の宿泊費、食事代、教材費、保険料などを含む)
申込 2023年7月17日(月)～30日(水)までに右記QRコードよりお申し込みください
参加申込フォームURL: <https://forms.office.com/r/pYh65bDHW>

フォトブック作成

活動内容からフォトブックを作成、オンラインでも成果を活用できるようにします。

活動内容



森林資源を活用したアウトドアクッキング

自然との共存を大切にする環境にも配慮したアクティビティとして、アウトドアクッキングを体験しました。自然の中で過ごす時間をより豊かなものにし、自然の恵みを直接感じながらの調理は心に残る素晴らしい体験となりました。

森と川、海との深いつながりを実感するシャワークワイミング

ガイドの引率のもと、迫川の源流水系を体験的に学ぶことで、森と川、そして海との深いつながりを実感する時間となりました。森の木々が水をたくわえ、川がその水を集め、そして海が川から水を受け取る。このように、私たちが生活する地球上のあらゆるものは、お互いにつながっていることがわかりました。



SDGsとの関係を学ぶフィールドトリップ

フィールドトリップでは、森林と水環境がどのように相互作用しているかを学びました。地域の治水と利水、持続可能性や地産地消の重要性について学ぶことができました。自然との共存や持続可能な社会の実現に向けて、より深く考えるきっかけを得ることができました。

対象地域

東北地方における好事例として、宮城・岩手・秋田の三県にまたがる栗駒山麓ジオパークをフィールドに、駒山系の豊かな水環境を活かした自然体験プログラムを提供している国立花山青少年自然の家にてエコツアーを実施しました。

活動エリアとして栗駒山麓ジオパークを選定した理由として、以下の3点を挙げられます。

- ①自然と歴史の豊かな栗駒山麓ジオパークの選定
- ②福島県の森林環境を新たな目で見つめ直す
- ③昨年度のエコツアーの成果



プロジェクトのまとめ

東北地方における好事例として、栗駒山麓ジオパークの豊かな森林と川がどのように関係し、互いに影響を与えるかを学び、自然の循環と相互作用について理解を深めることができました。特に水循環や生物の生態系を通じて、自然環境のつながりを学ぶことができました。福島県における森林の循環の重要性を感じました。

栗駒山麓ジオパークは、自然との共存を大切にする取り組みとして、森林保護活動や地域住民との協働など、様々な取り組みが行われていました。また、自然を活かした観光や教育プログラムも行われており、多くの人々に自然の素晴らしさや大切さを伝えていきます。これらは、地域の持続可能な発展に貢献するとともに、多くの人々にとって大切な場所となっています。

本プロジェクトでの学びを生活に活かし、福島県の自然の美しさや重要性を再認識し、地域と共に持続可能な未来を築いていけるよう、今後も継続的な取り組みを行っていきたいと考えました。

●本プロジェクトは福島県「令和5年度森林自己学習支援事業」の補助を受けて実施したものです。

